

第44回江刺甚句まつり 珠蓮会の取り組み

珠蓮会 全体コンセプト

凜

～りん～

江刺の大火からの復興を祈願することから始まり、「見るまつりから参加するまつりへ」をキャッチフレーズに受け継がれてきた江刺甚句まつり。先人の熱き想いがつまった伝承演舞。歴史を重んじながら次代へつなぐ架け橋となり若き世代へとその想いを継承していくために我々は「凜」とした姿勢で受け継ぎます。様々な色の輝きを放つ仲間と力をあわせて創る光の環。その環でかけがえのない故郷に華を咲かせよう。愛する街のため、愛する人のため、愛すべき未来のために我々は「凜」と立ち上がり、咲き誇ります。

●世代を超えた伝承「組馬喰」の復活

本まつりにて我々珠蓮会が取り組む演目は次の通りです。

①江刺甚句 ②馬喰ばやし(組) ③オリジナル

江刺甚句とオリジナルについてはまつり参加にあたり必要不可欠であることはみなさんもご承知のことと思います。

組馬喰についてですが、まず始めに、「馬喰ばやし」とは家畜の売人をモチーフにした曲で、初期の年代連の方々のオリジナル演舞を改良しながら受け継がれてきた曲です。

最後に披露した団体は17年前の42歳年祝連「二千和会」様。つまり我々珠蓮会が25歳年祝連の平成12年に共にまつりを盛り上げ支えていただいた方々です。

こうした「縁」を感じながら我々のテーマに盛り込むことでまつり成功に寄与するものと考え「組馬喰」の伝承を決定いたしました。

●独自イベント「3団体合同演舞」

組馬喰の伝承に伴い本まつりでの独自のイベントとして、我々珠蓮会を含む歴代の伝承団体である「鵬親会」様、「二千和会」様と合同で組馬喰の演舞披露を企画中です。市民のみなさんにまつりの歴史を感じていただき、伝承の素晴らしさを発信したいと思います。

●最後に…

3年間の珠蓮会の活動は来年の本番でクライマックスを迎えます。人生で一度きりの42歳のおまつり。長い人生の中でのほんの一瞬、珠蓮会で輝いてみませんか。仲間と力をあわせ、一つのものを創り上げればきっと「参加して良かった」と思えるはずですよ。

今こそ「凜」と立ち上がり、感動を共有しましょう。会員のみなさんの多大なるご協力をどうかよろしくお願いいたします。

珠蓮会メールの 一斉送信テスト

本まつりに向けての練習会場や練習時間等のお知らせなどで、急ぎの連絡がある場合に会員皆様のメールに一斉連絡をします。それに伴い、以下の日程でメール送信のテストを行いますので、ご協力をお願いします。

【日時】11月26日(土) 12:00頃

《内容》

珠蓮会へご連絡いただいたメールアドレス宛に、テストメールをお送りさせていただきます。届いた場合はそのままご返信をお願いします。※メールアドレスをご連絡いただいていない方は、同封のハガキに記入して、期限内にご返送ください。

《注意点》

◆送信元は珠蓮会メールアドレス

shurenkai@pup.waiwai-net.ne.jp

からの発信です。

◆携帯電話、スマートフォンの設定によっては、受信できない場合もありますので、「パソコンメール受信許可」ならびに「@pup.waiwai-net.ne.jp」ドメインからのメール許可の設定をお願いします。尚、受信許可等の設定については、取扱説明書またはご契約キャリアのショップにご確認ください。

遠方の方について

3月頃に役員メンバーが東京、仙台、盛岡の3地区遠征練習会を行う予定です。

また参加する方には、事前にオリジナル踊り等の練習DVDも用意して、ご自宅にお送りし、分かりやすくご指導いたします。遠方の方でもお気軽にご参加ください。

イベントスケジュール

1月7日(土) 江刺甚句伝承式

2月4日(土) 江刺甚句伝承修了式

3月26日(日) 25歳連との合同練習会

4月2日(日) 踊り・お囃子披露会

組馬喰ばやしの引継ぎ会

10月29日(土)、二千和会様と組馬喰ばやしの引継ぎ会を開催しました。この組馬喰ばやしは、私たちが25歳年祝連だった時の42歳年祝連二千和会様が演舞された後、17年間眠ったままになっていました。それを今回、私たちが42歳年祝連として伝承させていただくことになり、二千和会様からは全面的なご指導とご支援を受けられることになりました。

引継ぎ会は、はじめ緊張感がありましたが、徐々に組馬喰に対する先輩たちの情熱が

広まり、話を伺う私たちも身を乗り出して、会場内は熱い空気感で盛り上がりました。また、実際に二千和会様が演舞を披露！という非常にありがたいご配慮をいただきまして、曲が8番まであり、踊りの種類が4種類であるという予備知識を念頭に、全員で見入りました！

練習していないとはいえ、見事な踊りに正直、珠蓮会のみんなが不安を胸に抱えました。私たちが踊れるの？甚句も踊って、オリジナルも踊って、馬喰も踊れるの？誰もが、そ

う思いました。が、しかし、第一部長は言っていました。「やると決めたからには、やりきろう！」おお～!!その通り!!まだ、何も始めているのに、自分は何に怯えているんだ!!みんなで決めたことだから、苦難があっても、みんなで乗り越えて、最後は最高の笑顔で踊り切ろう!!

3年前に進み始めた「珠蓮会」という船は、今まさに大海原の真ん中です。いろんな想い一つにして、最高の本番をやり遂げましょう!